



道の駅で優雅なひとときを



ベーゼンドルファーを演奏する木住野さん

国見町応援大使 木住野佳子ピアノコンサート

国見町応援大使のピアニスト・木住野佳子さんによるピアノ・ソロ・コンサートが12月17日、観月台文化センターホールで開催されました。

コンサートでは、木住野さんが震災復興への希望を込めて作曲した『HOPE』をはじめ、クリスマスメドレーを含む全10曲を熱演。会場には、木住野さんから高い評価をいただいているピアノの名器ベーゼンドルファー・インペリアル美しい音色が響き渡り、観客を魅了しました。アンコールを求める満場の拍手に応え、木住野さんが『ふるさと』を演奏すると、観客のみなさんも歌詞を口ずさみ、会場は一体感に包まれました。

また、夜には道の駅国見あつかしの郷に会場を移してディナーコンサートが開催されました。来場者は、木住野さんが奏でる美しい音色とレストラン桃花亭のシェフ自慢の料理との“共演”を楽しんでいました。



おいしそうに給食を食べる子どもたち（国見小学校）

国見ジュニア応援団 町イチ！村イチ！でPR



生産者、ミスピーチらとともにPRするジュニア応援団

国見ジュニア応援団は12月3日、東京国際フォーラムで開催された「町イチ！村イチ！2017」に参加しました。

「町イチ！村イチ！」は、全国町村の自慢のグルメ・物産が展示・販売されるイベントで、国見町もブースを出展。町のブースには、生産者やミスピーチとともに国見ジュニア応援団が参加し、町特産のあんぼ柿やリンゴのおいしさをPRしました。団員は、「来場者のみなさんがおいしいと言って買ってくれたのでよかったです」とPR活動を振り返りました。

今年もおいしくできました あつかしさん新酒お披露目



乾杯の音頭をとる朽木さん

今年の新酒あつかしさんのお披露目が12月21日、道の駅国見あつかしの郷で行われました。

披露会では、太田久雄町長が「今年も大変素晴らしい出来栄のあつかしさんが完成しました。ぜひ、フルーティーな風味を楽しんでください」とあいさつ。あつかしさんの原材料である献穀米『天のつぶ』の生産者・朽木勝之さんの音頭で乾杯すると、出席者は3種類のあつかしさんの違いを確かめるように、その風味を楽しんでいました。



「手を合わせてくださる」「いただきますー！」

元氣いっぱいのおいさつとともに、給食の時間がはじまります。

この日は12月19日。年内最後の「みんなで食べる国見の日」の給食のお盆には、「国見町食卓図鑑」から献立に採用された、松浦洋子さんの「ポテトサラダ」が並びます。

校内放送で、本日の給食のメニューとして松浦さんのポテトサラダが紹介されると、「松浦希望さんのお母さんだね！」と、教室は湧き上がります。希望さんは少し恥ずかしそうになしながらも、どこか嬉しそうな表情を見せていました。

*** **

子どもたちの健やかな成長を支える給食。しかし、最近では、「冷たくておいしくない」と給食の食べ残しが全国的に問題化され、さらには異物混入といった食の安全性が問われる事態にも発展しています。しかし、国見町には、安全・安

「特にアレルギーを持つ子どもの献立には気を付けています」と話す町給食センター栄養教諭の上原子さん。「アレルギーを持つ子どもの保護者と密に連絡を取り合い、一つ一つの食材の可否を確認します。献立を考えるのは大変ですが、子どもたちが『おいしい』と言って食べてくれることが何より嬉しいです」と笑顔で話します。

上原子さんは「今日も献立作りを頭を悩ませます。他でもない、子どもたちの笑顔のために。」

【特集】給食から学びを—地産地消のススメ— 終

心で温かくておいしい、栄養満点の給食を子どもたちに届けてくれる、自慢の給食センターがあります。多様な食生活を送る子どもたちの栄養管理をはじめ、地産地消の推進と地域の食文化の継承、安全性に対する際限のない追求など、今、給食に求められる課題は少なくありません。